

## 第3次静岡市総合計画骨子（案）に関する意見応募用紙

## 【ご意見のタイトル（項目、訂正箇所等）】

P18「商工・物流」→『政策1の(2)クリエイティブ産業の推進』について

意見の骨子＝「クリエイティブ産業のランドマークとして七間町界隈を『ポップカルチャー ストリートミュージアム風』に仕立てる」

## 【ご意見の内容】

「しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム（SCV）」は組織化した平成17年度より“おしゃれな知識人・クリエイターが闊歩するまち”を掲げて『しずおかコンテンツバレー構想』の具体化に向けた活動を推進していますが、10年目を迎えた本年5月2日、市経済局に提出した提案書『デザイン都市静岡市に向けて』で、クリエイターたちが生み出すコンテンツでビジネスを展開するクリエイティブ産業を戦略産業に位置付けた「デザイン都市」のランドマークとして『ポップカルチャーミュージアム構想』を提示しました。

ポップカルチャーとはクリエイティブな大衆文化のこと。かつて木工職人が携わった木製模型をルーツとするシェア全国一のプラモデルは本市の代表例。半世紀前のロボットマンガもまた現代のハイテクロボットにつながるポップカルチャー。ポップカルチャーは過去、現在、未来をつなぐクリエイティブなランドマークと評しても良いと思います。

但し、提案書で打ち出したミュージアムは将来構想であって、今、直ちに巨額の費用を要する箱物を設置すべきだとこだわっているわけではありません。新しい「市クリエイター支援センター」（新CCC）が28年度、七間町の市上下水道庁舎内で開所するのを機に、かつて本市で映画という大衆文化の発祥の地となった七間町界隈を、ワンランクアップした総合的なポップカルチャーの“聖地”に変えることで賑わいを取り戻し、界隈一帯まるごとクリエイティブ産業集積事業推進の活動拠点にするという考え方です。

新CCCを基点に、通りに軒を連ねるカフェや商店、空き店舗の活用も含めた可能な限りのスペースを動員してミュージアム風に仕立て上げる。名付けて『ポップカルチャー ストリートミュージアム七間町』。ポップカルチャーの展覧会やストリートフェスティバル、ワークショップなどに加えて、大道芸の飛び入りもある・・・。市民参加型のワクワクする夢のストリートの誕生です。道程が険しいことは重々承知の上ですが、クリエイティブ産業推進施策の起爆剤として産学民官連携の取り組みに発展させていただきたい。

* 住所 (法人の場合は所在地)	静岡市葵区追手町4-16 静岡市クリエイター支援センター内	
* 氏名 (法人の場合は名称及び代表者名)	NPO 法人しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム	
性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 70歳以上	職業 <input type="checkbox"/> その他

## 第3次静岡市総合計画骨子（案）に関する意見応募用紙

【ご意見のタイトル（項目、訂正箇所等）】

P12「Ⅱ みんなで展開する都市経営の方針」の『3 広域行政の推進』

意見の骨子

「静岡空港を取り込んでアジアに開かれた富士山圏域のリーダー都市を目指す」

【ご意見の内容】

急速に進む少子高齢化・人口減少などによる地域活力の低下が危惧される状況にありますので、静岡県中部圏の中核都市としてリーダーシップを発揮し、国・県との連携を深めて活力ある広域行政を推進していくとの都市経営の方針は市民としても望むところです。

問題は目線をどこに置き、工程表をいかに描いて実行に移していくかですが、百年構想のランドデザインで中心軸に富士山静岡空港を据えることで対応できると考えます。経営苦に陥っている静岡空港を逆に取り込み、本市の空の玄関口に活用することでアジアに開かれた富士山空港圏域のリーダー都市を目指す発想の転換による広域行政の展開です。

富士山静岡空港圏域とは、静岡県が空港開設に際して利用圏域として設定した「静岡空港から自動車で2時間の圏域」を指します。当時の静岡県構想では富士山を取り囲んでいる静岡・山梨両県と、近接する神奈川県、愛知県、長野県の一部地域での構成を想定していました。一部地域とは、神奈川県は厚木市以西のルート246沿線地域、愛知県は豊川市、豊橋市など東三河地域、長野県は飯田市など南信州地域。この圏域の人口668万人、GDP28兆円はスイス（人口716万人、GDP30兆円）に近い規模となります。

富士山静岡空港圏域は公式な呼称ではありませんが、アジア諸地域で知名度抜群の「富士山のくに」として東京・名古屋・大阪経由ではなく、静岡空港経由でアジア諸地域と直接大交流するアジアに開かれた圏域として位置付けることで、同圏域の主導権を静岡市が握るのです。道州制構想がどうであれ、同圏域独自の生き残り戦略にも成り得るはずです。

百年構想の到着点を『アジアに開かれた圏域』としましたのは06年の安倍内閣時代、当時の安倍首相が「美しい国」の実現を目指した政策の柱の一つ『アジア・ゲートウェイ構想』が今後重要性を増してくると判断するからです。本市の将来像を、アジアと日本の架け橋となるゲートウェイ富士山静岡空港圏域の中核都市に設定。出発点としてまずは東京五輪・パラリンピック開催までに静岡県中部圏を固める。その後にアジア、世界へと順次拡大していく。ロマンに満ちた遠大な百年構想を期待します。

\* 住所

(法人の場合は所在地)

静岡市葵区追手町4-16

静岡市クリエイタ支援センター内

\* 氏名

(法人の場合は名称及び代表者名)

NPO法人しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム

性別

男性年齢 70歳以上職業 その他

## 第3次静岡市総合計画骨子（案）に関する意見応募用紙

## 【ご意見のタイトル（項目、訂正箇所等）】

## P5「市政運営の構成と方向性」の情報発信について」

意見の骨子＝「情報発信機能としてネット上のガイドブック『富士山のくに静岡観光ペディア』を開発する」

## 【ご意見の内容】

都市経営でも企業経営同様に、情報戦略の巧拙が命運を左右するとして各都市ともに情報戦略、とりわけ発信力の強化に注力していることはご案内の通りです。そうした視点から基本構想をチェックさせていただきましたが、情報発信戦略についての深掘りがなく、P5「文化・スポーツ」で『国内外に発信し・・・』と触れたにとどまっています。

情報発信は当たり前との前提で構想をまとめた結果だとは思いますが、全市民に情報戦略の重要性を理解していただくためにも、敢えて特別仕立ての項目を設けてでも強くアピールした方が良いと思います。発信の仕組みの構築が重要になりますが、基本構想が目指す本市の将来像「世界に輝く静岡」に照らせば、本市の魅力を世界に理解していただくかねばなりませんので、『市まるごと観光資源』と捉えて、余すところなく丁寧に、分かりやすく、“訪れてみたくなる情報”に仕上げた発信する機能整備が必要になります。

そのシステムが冒頭の意見欄で提案しました『静岡観光ペディア』の開発です。東京在住のフランスの雑誌特派員が「21世紀型の世界規模の動員策としてITを駆使し、日本を訪れる外国人観光客が共有できるネット上のガイドブックを誰かが作って運営してくれると便利だ。誰もが無料で利用できるネット上の百科事典・ウイキペディアと同様の仕組みの“日本観光ペディア”はどうか」と提言していた“知恵”を拝借し、世界規模のブランド「富士山のくに」をかぶせました。WiFi整備も絡めれば相乗効果が期待できます。

『市まるごと観光資源』との捉え方は本市に就職してから現在まで半世紀超の市民生活で実感した結論です。基本構想に記述されている『静岡市の力』はどの資産を取り上げてもすべて世界レベルの一級の観光資源。その意味では、本市は間違いなく世界に誇れる日本屈指の観光資源を擁する都市です。千葉県出身者にとっては実に羨ましい限り。ただ、現状は大半の資源が原石のまま輝いていない。「静岡市は創造的観光都市だ」と位置付けることを出発点に、原石を磨き上げる作業に官民挙げて取り組むべきだと思います。

* 住所 (法人の場合は所在地)	静岡市葵区追手町4-16 静岡市クリエイタ支援センター内
* 氏名 (法人の場合は名称及び代表者名)	NPO 法人しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 70歳以上                      職業 <input type="checkbox"/> その他

## 第3次静岡市総合計画骨子（案）に関する意見応募用紙

【ご意見のタイトル（項目、訂正箇所等）】

P1「基本構想（百年構想）」の『都市イメージ』について

意見の骨子

「ユネスコの創造都市認定に向けて『デザイン都市』を宣言する」

【ご意見の内容】

「基本構想」が想定している都市イメージは、創造力で本市の地域資源に新しい価値を与え、地域経済を活性化することで築く『世界に輝く創造都市』と推察します。

市民はいかなる『創造都市』を望んでいるのか。基本構想の考え方に賛成ですので意見公募の結果が楽しみです。10年前より『クリエイター育成』を目的に産学の有志が立ち上げた「しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム（SCV）」活動に参加。『しずおかコンテンツバレー構想』を推進してきた体験を踏まえて、ユネスコ認定の『創造都市』（デザイン部門）に向けた『デザイン都市宣言』を提案します。

本市は、徳川時代265年持続の平治社会づくりの礎になった家康公が400年前、政治・経済・文化の知恵者（クリエイター）をブレインに築いたクリエイティブな情報発信都市・駿府でした。SCVは往時の匠のまち駿府を「駿府クリエイティブ都市」と命名。家康公の戦略的構想力（デザイン力）に学ぶ駿府クリエイティブ都市再生構想として「クリエイティブ産業集積のまち」を想定した提案書『デザイン都市静岡市に向けて』を本年5月2日、市経済局に提出させていただいたところです。

何故、デザインにこだわるのか。“楽しさ・かっこよさ・素敵さ”を表現するデザインは人の気持ちも社会全体も良くする新しい資源であって、既存産業の添え物ではないとの考え方が英国、韓国などクリエイティブ産業先進国では定着。日本でもデザイン産業＝クリエイティブ産業がクリエイティブな発想で既存の社会基盤すべてに切り込んでいける新産業として評価され始めているからです。家康公がああ戦乱の世で既に見抜いていた「デザインは問題解決の手段」。デザインに執着することが創造都市への第一歩だと考えます。

SCVでは25年度、活動コンセプトに『デザインのあるまち興し』を追加し、市民へのアピール行動を開始しましたが、行動目標の最上位に、狙いを明確にすることと、クリエイターの士気を鼓舞するために『デザイン都市宣言』を掲げました。

* 住所 (法人の場合は所在地)	静岡市葵区追手町4-16 静岡市クリエイター支援センター内
* 氏名 (法人の場合は名称及び代表者名)	NPO 法人しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム
性別	<input type="checkbox"/> 男性      年齢 <input type="checkbox"/> 70歳以上      職業 <input type="checkbox"/> その他

## 第3次静岡市総合計画骨子（案）に関する意見応募用紙

第3次静岡市総合計画骨子（案）について、あなたのご意見をお聴かせください。

【ご意見のタイトル（項目、訂正箇所等）】 ※案のどの部分に対するご意見かをお書きください。

『創造する力』による都市の発展 多様な地域資源をみがきあげ、新たな価値を創造することで、静岡市の有する文化力を地域の活力、経済力に変えることを目指す。

## 【ご意見の内容】

『創造する力』による都市の発展のために、実施可能な具体的な方策について提案します。  
多様な経済基盤を持つ「創造都市」を目指すための方策を下記に記述します。（実施年度）

1. ユネスコの創造都市（デザイン部門）に加盟申請するための宣言を行う。（平成27年度）  
静岡市の都市デザインの大きな目標となるビジョンとしても絶対不可欠である。  
浜松市が今年度中にも音楽部門でのユネスコの加盟申請が承認される予定である。
2. 本市産業を牽引する戦略産業としてクリエイティブ産業を位置付ける。（平成27年度）  
多彩な地域資源が豊富な本市経済を今後けん引していく都市型産業と捉えることで、若者の転出超過を防ぐとともに産業集積することによって人材誘致にも繋げる。
3. 七間町にオープンする新CCCを活動拠点に街なかの賑わいを生み出す。（平成28年度～）  
ポップカルチャーストリート七間町としてホビー等を展示することで空き店舗の活用をはかる。  
SCVの街クリ企画でクリエイティブし、ピクトグラムによる案内などで賑わいを創出する。
4. 創造都市を念頭にデザインによる街興しイベントを企画し実施する。（平成28年度～）  
アジア市場をターゲットにイベント、ワークショップ等を企画しアジア人の観光客誘致に繋げる。  
デザインウイークとしてデザインフェスティバルを開催し、賑わい・活気を演出する。
5. ユネスコの創造都市（デザイン部門）の加盟申請の承認（平成30年度～）  
世界創造都市フォーラム、シンポジウムを本市で開催し、MICEの誘致と世界の人々との交流を促進する。東京オリンピックを翌々年に控え、富士山空港からのアジア観光客をプロモートする。

* 住所 (法人の場合は所在地)	静岡市葵区追手町4-16 静岡市クリエイタ支援センター内
* 氏名 (法人の場合は名称及び代表者名)	NPO法人 しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 19歳以下 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70歳以上
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> その他

《送付（問い合わせ）先》

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

静岡市役所 静岡庁舎12階 企画局企画部企画課

【電話】 054-221-1002（直通） 【ファクシミリ】 054-221-1295